

美術科学習指導案

三次市立作木中学校

教諭 原田 真季

- 1 日 時 平成25年11月8日(金) 第5校時
- 2 場 所 2年教室(2F)
- 3 学 年 第2学年 8名(男子5名 女子3名)
- 4 題 材 伝え合う形 ～生活の中のピクトグラムをもっとよくしたい!～

5 題材について

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領解説第2学年及び第3学年の内容「A表現」(2)アと「B鑑賞」(1)ウに関する題材である。

ピクトグラムとは形と色で分かりやすく情報を伝えることを目的とした絵文字のことで、ユニバーサルデザインの観点から、人々の行動のよりどころになる情報を、単純な図などでの確に伝えることを目的とし、サインや看板として公共施設に用いられている。

本題材は、すでに公共の場にサインとして存在するピクトグラムの中から、意味が分かりにくいものをピックアップし、その改善策を練るものである。

本題材を導入するポイントは、以下の3つである。

- ① ピクトグラムをデザインし、鑑賞することによって、デザインのもつ形や色彩が与えるイメージについて考察することができる。
- ② もとあるピクトグラムを改善する授業を展開することによって、あらかじめ設定された条件をもとに、表現の意図を考え制作することができる。
- ③ 他者を意識したデザインを行うことで、美術を通じたコミュニケーションの取り方について考えることができる。

また、身近なピクトグラムを用いることで、生徒の関心・意欲を高めることができる。

(2) 生徒観

第2学年には、全体的に美術を得意とする生徒が多く、日々意欲的に作品制作に取り組んでいる。

1学期に行った美術科のアンケートでは、「美術の授業が好きである、ものを描く・作ることが好きである」という項目を全員が肯定的に答えた。

しかし、2学期に行ったアンケートでは、「①テーマや条件を基に発想し描くことが得意である ②作品を構想する段階でなぜこのような表現にするかを考え制作を行うことができている ③なぜこのような表現にしたかを言葉で他者に説明することができる」という三項目に対して4割の生徒が否定的に回答している。この3つの項目が第2学年の生徒の課題だと考える。

(3) 指導観

そこで、指導に当たっては、次のような手立てを講じていきたい。

① 発想や構想の能力を育てる手立て

デザインを発想するきっかけとするために、分かりやすいデザインとして改良するためのポイントを提示する。構想の段階では、まず個人でピクトグラムをデザインする。その後、個人で考えたデザインをペアで交流し、お互いにアドバイスすることで、再度考えを組み立てさせる。その際、ねらいやその理由、表現の工夫等をワークシートに記入させる。

② 鑑賞の能力を育てる手立て

ユニバーサルデザインの観点からピクトグラムの機能性・利便性について実際のピクトグラムを鑑賞しながら考えさせる。また、生活で使用されているピクトグラムのデザインの工夫について考察する際は、まず、生徒自身が「座席はゆずりあって座ってください」という意味のピクトグラムのデザインを考え、その後、デザインしたピクトグラムと同じ意味で、実際に使用されているピクトグラムを提示し、鑑賞させる。その際、自分の考えたデザインと比較し、ピクトグラムの情報を発信するために単純化された形の工夫、情報をより強調して伝えるための色彩の工夫について、自分の考えをワークシートに記入し、全体で交流し深めるようにする。

③ 美術への関心・意欲・態度を育てる手立て

身近にあるピクトグラムを題材に用いる。多様なピクトグラムを電子黒板を利用しながら提示する。

(4) 本校の研究主題とのかかわり

本校の研究主題は「思考力・表現力を高める教育の創造」である。この主題に迫るため次の3つの手立てを講じていきたい。

- ① 情報が伝わりやすくなるよう改良したデザインについて、伝わりやすくするために考えたことや、工夫したことを文章や構想図を用いて表現するよう指導する。
- ② 個人で考えたデザインを、ペアでお互いに説明し合う言語活動の場を設ける。
- ③ ワークシートにデザインの評価を記入する欄をつくり、お互いのデザインのよいところと改善点を考え、それを基に自身のデザインを発展させる。

6 題材の目標

- ・ 生活の中のピクトグラムのデザインの工夫や機能性・利便性について考察することができる。
- ・ 情報を伝えるために形や色彩を工夫し、情報が伝わりやすいピクトグラムのデザインを考えることができる。

7 題材の評価規準

| 美術への関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 鑑賞の能力 |
|-------------------------------|--|---|
| ・ 意欲を持って鑑賞、交流、発表、制作を行おうとしている。 | ・ 伝えたい情報を多くの人に伝えるため、形や色彩を工夫し、情報が伝わりやすいピクトグラムの構想を練っている。 | ・ 生活の中のピクトグラムのデザインの工夫や機能性・利便性について形や色彩などを基に考察している。 |

| | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムに対する仲間からの形や色彩などのアドバイスをふまえ、よりわかりやすいデザインに改善している。 | |
|--|---|--|

8 題材の指導計画（全2時間）

| 次 | 学習活動 | 評価の観点 | | | | |
|---|----------------------------|-------|------|----|--|-----------------------|
| | | 関心意欲 | 発想構想 | 鑑賞 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | ユニバーサルデザインとピクトグラムについて | ○ | | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲を持って鑑賞，交流，発表，制作を行おうとしている。 ・生活の中のピクトグラムのデザインの工夫や機能性・利便性について形や色彩などを基に考察している。 | ワークシート 行動観察 |
| 2 | より情報が伝わりやすいデザインの工夫について（本時） | | ◎ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい情報を多くの人に伝えるため，形や色彩を工夫し，情報が伝わりやすいピクトグラムの構想を練っている。 ・ピクトグラムに対する仲間からの形や色彩などのアドバイスをふまえ，よりわかりやすいデザインに改善している。 | ワークシート デザインの工夫・完成度 |

9 本時の展開

（1） 本時の目標

形や色彩を工夫し，情報が伝わりやすいピクトグラムのデザインを考え自分なりに表現する。

（2） 本時の評価規準

- ・伝えたい情報を多くの人に伝えるため，形や色彩を工夫し，情報が伝わりやすいピクトグラムの構想を練っている。
- ・ピクトグラムに対する仲間からの形や色彩などのアドバイスをふまえ，よりわかりやすいデザインに改善している。

（3） 準備物

【生徒】 教科書・ファイル・筆記用具

【教師】 ワークシート①②・マジック・電子黒板・タイマー

(4) 学習展開

| | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て) | 評価規準 (評価方法) |
|--|---|---|---|
| 導入 (5分) | 1 前時の復習 ・ユニバーサルデザインとピクトグラムについて ・ピクトグラムクイズ | ◆前回のプリントを確認しながら発表させる。 ・ピクトグラムを3つ提示し、意味を答えさせる。3つ目に本時の課題にあたるピクトグラムを提示する。 | |
| 展開 (40分) | 2 課題の提示 | ・ピクトグラムの意味を考える。 | |
| | めあて「形や色彩を工夫し、情報が伝わりやすいピクトグラムのデザインを考え自分なりに表現する。」 | | |
| | 3 デザインを考えるポイントの確認 | ・ピクトグラムの意味を踏まえ、どのように改良すればいいか考えさせる。 ・改良方法を二つ提示する。 ①今のピクトグラムを元に情報が伝わりやすくなるよう、付け加えたり、削除したりする。(記号・背景・コメント・動き) ②視点を変えて、オリジナルのものを作成する。(足元の視点・真横の視点・上からの視点) | |
| | 4 個人でデザインを考える | ◆前回のピクトグラムのデザインの工夫についてのキーワードを同時に提示して、参考にするように指示する。 ◆机間指導を行い、個別に支援を行う。 | ・伝えたい内容を多くの人に伝えるため、形や色彩を工夫し、情報が伝わりやすいピクトグラムの構想を練っている。(ワークシート) |
| | 5 ペアで話し合い、デザインを練り直す じっくり考えさせる | ・ペアになり、お互いのデザインのよい所、改善点を交流しワークシートに書く。そのアドバイスをもとにデザインを更に改良・深化させる。 ・決まったデザインをマジックでワークシートに描く。 | ・ピクトグラムに対する仲間からの形や色彩などのアドバイスをふまえ、よりわかりやすいデザインに改善している。(ワークシート) |
| | 6 発表 はっきり表現させる | ・造形要素別で工夫点をワークシートに記入し、全体で交流を行う。 | |
| <p>≪めあてを達成した生徒の姿≫B基準</p> <p>形…ピクト君の感情が伝わる動き、マーク自体の形、配置や大きさの工夫について記入している。 例) ピクト君をわざと左にはみ出すように描いた。注意を換気させるよう、マークの形を三角にした。</p> <p>色…色彩の効果について記入している。 例) 目立つように背景を赤にしている。注意を促すように黄色と黒の配色にしている。</p> <p>その他…背景の工夫、記号や文字を入れるなどの工夫について記入している。 例) !マークを記入した。エスカレーターとわかるように、背景に階段の段差を記入した。</p> | | | |
| 終末 (5分) | 7 まとめ 振り返り | ・振り返りシートに、本時のねらいに沿った内容の振り返りを書くよう指示する。 | |